

## 平成 26 年度 第 1 回 環境水理部会 議事録

時間：平成 26 年 9 月 10 日（水） 12:00～13:40

場所：大阪大学豊中キャンパス B 棟 316 教室

出席者（敬称略）：角哲也，宮本仁志，赤松良久，大石哲也，石塚正秀，井芹寧，井上徹教，  
(出席者 [ ]) 梅田信，太田誠二，大橋伸之，工藤健太郎，齋田倫範，櫻井寿之，重枝未玲，  
新谷哲也，鈴木準平，鈴木伴征，竹林洋史，田代喬，都築隆禎，中山恵介，  
中山忠暢，長尾正之，藤野毅，鶴田泰士，矢島啓，矢野真一郎，湯浅岳史，  
横山勝英

(オブザーバー) 今村正裕，大槻順朗，田井明，土屋十圀，鶴田舞，二瓶泰雄（順不同）

議題：

### <資料>

- ・議事次第
- ・平成 26 年度 第 1 回 水工学委員会および幹事会（報告資料）
- ・第 19 回水シンポジウム 2014 in ながさき資料（開催案内，第 1 分科会報告）
- ・河川砂防技術基準（調査編）に関する国総研との勉強会資料
- ・平成 27 年度研究集会について
- ・教科書WG資料（現状報告，教科書目次）

### <報告事項>

#### 1. 報告事項

##### 1) 水工学委員会報告（6/30）[角部会長]

- ・水理公式集の改訂作業が進行中である。
- ・水工学に関する夏季研修会が九工大にて実施された。
- ・災害調査団の派遣についての手順について，水害対策小委員会において議論している。
- ・社会インフラ維持管理・更新の重点課題検討委員会に対する水工学委員会としての貢献について議論がなされた。例えば，ダムや水門などの水工構造物については，委員会の目指す方針に合致すると思われる。
- ・平成 26 年度第 59 回水工学委員会が早稲田大学，次回は東北大学で開催予定である。
- ・平成 27 年度水シンポジウムは福井県で開催されることが決定し，分科会開催は基礎水理部会が担当する。
- ・水害対策ガイドラインについて説明がなされ，特に災害調査に対して保険に加入するよう依頼された。
- ・ISE (Ecohydraulics) 2018 の東京開催に対し水工学委員会がスポンサーの一つとなる。
- ・ISRS より余剰金 500 万円が水工学委員会へ寄付された。利用目的について，賞を新設するなどの議論がなされた。

##### 2) H26 研究集会の報告 [大石幹事]

- ・H26 年度環境水理部会研究集会の開催報告がなされた。
- ・研究集会参加者 70 名，見学会 36 名
- ・「発表件数が多かったためディスカッションする時間が欲しい。」「セッションを 1.5 日

分に拡大してもよい。」との意見があった。

- 3) H26 水シンポジウム in ながさきについて [角部会長]
  - ・水シンポジウム in ながさきにおいて分科会を開催した旨，報告された。
  - ・長崎豪雨災害を踏まえた，既存ダムの有効活用，ダム群の長寿命化のユニークな取り組みを「長崎方式」として位置づけ，全国に向けて情報発信することとした。
- 4) 河川砂防技術基準（調査編）をもとにした意見交換会（環境 WG）
  - ・新規改定された河川砂防技術基準について，応用生態工学会も含めた国交省主催の WG が動いている。
  - ・議論の中身からは新技術や調査方法など先駆け的な利用方法に対するインプットが求められていると思われる。
  - ・WG のメンバーでなくとも必要に応じて（とくに現場コンサルタントの皆様），意見をいただきたい。樹林化ワークショップ 2013 を河川部会河道 WG と共催で開催
- 5) WG 活動報告（教科書作成 WG）[二瓶先生・東京理科大学]
  - ・原稿がひと通り揃ったが細部の修正は未完である。体裁の整理や校正については専門業者に依頼する予定である。H27 年 2 月の発刊のため，10/10 が原稿の最終締め切りとなる。各執筆者には作業をお願いしたい。
  - ・執筆者の表記はできるだけ簡素にする予定である。
  - ・教科書の発行部数を 500 部から 1000 部に増やすことを検討している。
- 6) 河川砂防技術基準（調査編）に関する国総研との勉強会
- 6) WG 活動報告（樹林化 WG）[宮本副部会長・芝浦工大]
  - ・「樹林化カルテ」の作成に向けた現地調査会（1 泊 2 日）を企画している。モデル現場として鬼怒川を予定している。
- 7) WG 活動報告（閉鎖性水域 WG）[矢島先生・鳥取大]
  - ・来年度の本格活動開始に向けてアンケートを実施する予定である。
- 8) WG 活動報告（動的総合土砂管理）[竹林先生・京都大]
  - ・耳川（宮崎）での九州電力ダムの排砂・通砂事業の現地見学を行う予定である。WG 構成員以外でも参加可能とするので参加表明して欲しい。

## 2. 審議事項

- 1) H27 年度研究集会について [角部会長]
  - ・3つの案が提案され，そのうちの案（1）京都での開催に決定した。
  - ・日程については木曜日～土曜日で行うが，具体的には今後検討するので，要望があれば連絡して欲しい。

## 3. その他

次回の日程

- ・第 59 回水工学講演会（早稲田大学）（2015/3/10-12）.において開催する。逐次連絡する。

以上